

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年11月15日
【四半期会計期間】	第95期第2四半期(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
【会社名】	昭和化学工業株式会社
【英訳名】	Showa Chemical Industry Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石橋 健藏
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂2丁目14番32号
【電話番号】	03(5575)6300番
【事務連絡者氏名】	総務企画部長 笹元 岳
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂2丁目14番32号
【電話番号】	03(5575)6300番
【事務連絡者氏名】	総務企画部長 笹元 岳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 昭和化学工業株式会社 大阪オフィス (大阪市北区堂山町1番5号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第94期 第2四半期連結 累計期間	第95期 第2四半期連結 累計期間	第94期
会計期間	自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	自 2020年4月1日 至 2021年3月31日
売上高 (千円)	4,065,209	3,899,979	7,676,107
経常利益 (千円)	331,226	241,052	474,267
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	195,490	177,340	292,109
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	298,778	237,066	467,926
純資産額 (千円)	5,606,834	5,971,318	5,775,951
総資産額 (千円)	12,236,670	12,470,781	12,322,460
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	18.50	16.76	27.64
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	45.8	47.9	46.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	390,285	207,494	816,530
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	95,246	102,480	240,135
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	22,251	247,168	239,239
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,264,778	2,636,072	2,768,215

回次	第94期 第2四半期連結 会計期間	第95期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日	自 2021年7月1日 至 2021年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	12.43	6.39

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、9月末に緊急事態宣言等が解除されたものの、感染再拡大への警戒感を払拭しきれず、予断を許さない状況が続いております。

当該リスクへの対応につきましては、当社は「新型コロナウイルス感染症対策委員会」にて、お客様及び従業員の安全を最優先事項と捉え感染拡大を防ぐため、就労時などのマスク着用や手指消毒の徹底、ウェブ会議の推奨、不要不急の国内外出張並びに工場見学その他各種イベントの開催または参加の見合わせ、感染拡大の影響が特に甚大な地域における社員の在宅勤務の励行など、当社グループの業績及び財政状況などに対する影響の低減につながるあらゆる策を継続しております。

現状、当社グループにおきまして、製造設備やサプライチェーン関連に対する大きな影響はなく事業を継続しております。また、国内ワクチン接種の進展等により、出荷数量はわずかに回復傾向を示し始めておりますが、同感染症影響以前の水準と同程度の回復にはいまだ程遠い状況が続いております。

当該リスクの影響は今後も継続すると予想しておりますが、ニューノーマルといわれる新たな価値観や行動様式、気候変動社会への対応など、当社グループを取り巻く経営環境の変化に迅速に対応しながら、質の高い商品・サービスの提供を続けるという使命を実現すべく、引き続き当該リスクの動向に注視し、適時適切な対応を継続してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績

当社グループは、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用しております。そのため、当第2四半期連結累計期間における経営成績に関する説明は、前第2四半期連結累計期間と比較しての増減額及び前年同期比（%）を記載せずに説明しております。詳細については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済回復に伴う輸出増を背景として、製造業を中心に収益改善の兆しが見え始めた一方で、資源価格高騰や長期化した緊急事態宣言の影響が下押し圧力となり、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原油価格高騰による製造原価の上昇や国内需要の伸び悩み等により、依然として厳しい状況で推移しております。

このような経営環境の中、当社グループでは在宅勤務中心の業務活動を継続し新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、売上目標達成と利益確保に尽力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、主に海外市場での売上減少の影響により売上高38億99百万円（前年同期は40億65百万円）となりました。利益面では、全社規模でのコスト削減を継続したものの製造原価の上昇が影響し経常利益2億41百万円（同3億31百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億77百万円（同1億95百万円）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントのため、製品別の業績を記載すると次のとおりであります。

濾過助剤

当期間におきましては、国内市場は横ばいであったものの海外市場での売上が減少しました。この結果、売上高は22億47百万円（前年同期は24億37百万円）となりました。

建材・充填材

当期間におきましては、国内市場での住宅用建材向け製品及び海外市場での売上が減少しましたが、国内市場での各種充填材向け製品の売上が増加しました。この結果、売上高は6億48百万円（同6億27百万円）となりました。

化成品

当期間におきましては、各種施設休止の影響が残るものの、プール用塩素剤を中心に全体的に売上が増加しました。この結果、売上高は7億53百万円（同6億31百万円）となりました。

その他の製品

当期間におきましては、各種化学品向け製品が増加したものの、浴室関連機器及び防災用品の売上が減少しました。この結果、売上高は2億50百万円（同3億67百万円）となりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加し、124億70百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金2億68百万円であり、主な減少は、現金及び預金1億32百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、64億99百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金1億67百万円であり、主な減少は、短期借入金2億48百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億95百万円増加し、59億71百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益1億77百万円、為替換算調整勘定40百万円であり、主な減少は、利益剰余金の配当金の支払い52百万円です。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の46.9%から47.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1億32百万円減少し、26億36百万円となりました。

当連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億7百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益2億37百万円、減価償却費1億41百万円、仕入債務の増加1億47百万円に対し、売上債権の増加2億68百万円、法人税等の支払額96百万円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億2百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出69百万円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、2億47百万円となりました。

これは、主に社債の発行による収入1億96百万円、長期借入金による収入1億円に対し、短期借入金の純増減額の減少2億48百万円、社債の償還による支出1億45百万円、配当金の支払額52百万円があったことによります。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動費は73百万円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2021年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年11月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,979,000	11,979,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	11,979,000	11,979,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
2021年7月1日～ 2021年9月30日	-	11,979,000	-	598,950	-	527,529

(5)【大株主の状況】

2021年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
シグマ株式会社	東京都目黒区上目黒1丁目8番10号	1,938	17.63
石橋 健藏	東京都目黒区	1,419	12.91
公益財団法人石橋奨学会	東京都目黒区東山3丁目1番11号	1,000	9.10
朝日生命保険相互会社	東京都新宿区四谷1丁目6番1号	770	7.01
昭和化学工業取引先持株会	東京都港区赤坂2丁目14番32号	427	3.89
白山工業株式会社	東京都港区赤坂2丁目14番32号	405	3.69
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	390	3.55
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5番5号	331	3.01
石橋 敬子	東京都品川区	316	2.88
北沢産業株式会社	東京都渋谷区東2丁目23番10号	255	2.32
計	-	7,252	65.98

(注) 1. 上記の他、自己株式が987千株あります。

2. 上記所有株式の他、2021年10月31日現在の役員持株会での持分として、石橋健藏氏が26千株を所有しております。

(6) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

2021年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,392,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,582,900	105,829	-
単元未満株式	普通株式 3,500	-	-
発行済株式総数	11,979,000	-	-
総株主の議決権	-	105,829	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式5株が含まれております。

【自己株式等】

2021年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
昭和化学工業株式会社	東京都港区赤坂2丁目14番32号	987,100	-	987,100	8.24
白山工業株式会社	東京都港区赤坂2丁目14番32号	405,500	-	405,500	3.39
計	-	1,392,600	-	1,392,600	11.63

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2021年7月1日から2021年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,108,961	2,976,072
受取手形及び売掛金	2,112,723	2,381,455
商品及び製品	349,480	311,326
仕掛品	453,518	451,430
原材料及び貯蔵品	161,128	183,771
その他	68,440	51,489
貸倒引当金	1,699	1,325
流動資産合計	6,252,553	6,354,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	900,852	910,079
機械装置及び運搬具(純額)	674,314	626,776
土地及び原料用地(純額)	1,073,576	1,068,758
その他(純額)	47,400	47,948
有形固定資産合計	2,696,144	2,653,563
無形固定資産		
その他	39,821	46,938
無形固定資産合計	39,821	46,938
投資その他の資産		
投資有価証券	2,696,942	2,791,672
長期貸付金	63,680	62,980
繰延税金資産	119,372	124,832
その他	536,819	523,494
貸倒引当金	82,874	86,921
投資その他の資産合計	3,333,940	3,416,058
固定資産合計	6,069,906	6,116,559
資産合計	12,322,460	12,470,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	708,100	875,575
短期借入金	2,755,148	2,506,903
1年内償還予定の社債	270,000	260,000
1年内返済予定の長期借入金	198,692	207,796
未払法人税等	104,954	75,177
賞与引当金	43,895	48,811
その他	298,819	302,426
流動負債合計	4,379,610	4,276,690
固定負債		
社債	420,000	485,000
長期借入金	676,210	664,450
繰延税金負債	60,733	65,413
役員退職慰労引当金	18,998	18,998
退職給付に係る負債	883,583	891,310
その他	107,372	97,600
固定負債合計	2,166,897	2,222,772
負債合計	6,546,508	6,499,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,950	598,950
資本剰余金	576,896	574,307
利益剰余金	4,361,231	4,485,745
自己株式	435,483	421,873
株主資本合計	5,101,593	5,237,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	656,608	676,271
土地再評価差額金	11,208	11,202
為替換算調整勘定	27,300	67,362
その他の包括利益累計額合計	672,699	732,431
非支配株主持分	1,658	1,756
純資産合計	5,775,951	5,971,318
負債純資産合計	12,322,460	12,470,781

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	4,065,209	3,899,979
売上原価	2,775,407	2,697,411
売上総利益	1,289,801	1,202,568
販売費及び一般管理費	1,039,085	1,054,409
営業利益	250,716	148,158
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,933	25,539
持分法による投資利益	32,540	55,682
固定資産賃貸料	26,564	27,897
売電収入	16,363	15,960
その他	25,654	17,335
営業外収益合計	125,056	142,414
営業外費用		
支払利息	20,429	21,284
売電費用	9,897	9,721
その他	14,218	18,515
営業外費用合計	44,546	49,521
経常利益	331,226	241,052
特別利益		
有形固定資産売却益	180	29
特別利益合計	180	29
特別損失		
投資有価証券売却損	-	40
固定資産除却損	485	3,869
投資有価証券評価損	29,361	-
関係会社株式評価損	9,999	-
特別損失合計	39,847	3,909
税金等調整前四半期純利益	291,559	237,172
法人税、住民税及び事業税	114,783	71,719
法人税等調整額	18,629	11,881
法人税等合計	96,153	59,838
四半期純利益	195,406	177,334
非支配株主に帰属する四半期純損失()	83	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	195,490	177,340

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	195,406	177,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118,490	18,611
為替換算調整勘定	3,142	10,011
持分法適用会社に対する持分相当額	11,975	31,109
その他の包括利益合計	103,372	59,731
四半期包括利益	298,778	237,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,851	237,071
非支配株主に係る四半期包括利益	72	5

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291,559	237,172
減価償却費	141,412	141,606
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,257	3,673
賞与引当金の増減額(は減少)	4,383	4,916
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	28,184	7,726
受取利息及び受取配当金	23,933	25,539
支払利息	20,429	21,284
投資有価証券評価損益(は益)	29,361	-
関係会社株式評価損	9,999	-
持分法による投資損益(は益)	32,540	55,682
固定資産除却損	485	3,869
有形固定資産売却損益(は益)	180	29
売上債権の増減額(は増加)	181,856	268,731
棚卸資産の増減額(は増加)	52,738	17,597
仕入債務の増減額(は減少)	157,212	147,089
その他	71,428	31,620
小計	464,466	266,572
利息及び配当金の受取額	31,005	58,266
利息の支払額	23,223	20,414
法人税等の支払額	81,962	96,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	390,285	207,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	230,000	-
定期預金の払戻による収入	230,169	-
有形固定資産の取得による支出	73,312	69,226
有形固定資産の売却による収入	180	30
無形固定資産の取得による支出	2,461	16,969
固定資産の除却による支出	-	3,693
投資有価証券の取得による支出	950	10,952
長期貸付金の回収による収入	850	700
その他	19,721	2,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	95,246	102,480
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	157,024	248,244
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	135,156	102,656
社債の発行による収入	196,981	196,981
社債の償還による支出	140,000	145,000
リース債務の返済による支出	3,736	3,608
子会社の所有する親会社株式の売却による収入	-	8,185
自己株式の取得による支出	34	-
配当金の支払額	52,826	52,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,251	247,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,142	10,011
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	314,146	132,143
現金及び現金同等物の期首残高	1,950,631	2,768,215
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,264,778	1 2,636,072

【注記事項】

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、商品又は製品の販売については、商品又は製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることから、商品又は製品の引渡時点で収益を認識することとしております。なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

また、一部の商品販売について、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、当社の役割が代理人に該当する取引については総額から仕入先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上が21百万円減少いたしました。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する見積り)

当第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについては、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

なお、会計上の見積りについては、入手可能な情報を勘案し合理的に判断しておりますが、実際の結果は、見積り特有の不確実性があるため、これらの見積りと異なる場合があります。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
発送費	435,467千円	418,350千円
貸倒引当金繰入額	526千円	47千円
賞与引当金繰入額	26,044千円	25,869千円
退職給付費用	18,961千円	20,413千円
減価償却費	31,135千円	32,360千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
現金及び預金勘定	2,605,630千円	2,976,072千円
預入期間が3か月を超える定期預金	340,851千円	340,000千円
現金及び現金同等物	2,264,778千円	2,636,072千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	54,959	5	2020年3月31日	2020年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月29日 定時株主総会	普通株式	54,549	5	2021年3月31日	2021年6月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

当社グループの売上高は、顧客との契約から認識された収益であり、財またはサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。なお、当社グループは単一セグメントですので、セグメント情報との間の関係は示しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)(単位:千円)

濾過助剤	2,247,482
建材・充填剤	648,332
化成品	753,252
その他	250,912
合計	3,899,979

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円50銭	16円76銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	195,490	177,340
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	195,490	177,340
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,569	10,579

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年11月12日

昭和化学工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

東京都千代田区

代表社員 公認会計士 辻田 武司
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 井口 智弘

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている昭和化学工業株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2021年7月1日から2021年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、昭和化学工業株式会社及び連結子会社の2021年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。